

2021年 12月 3日

報道機関関係者 各位

尚綱学院高等学校 特別授業 「“公的扶助”について学ぼう」開催のお知らせ

報道関係者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素より本校の教育へご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、本校では「社会とのつながりを意識し、他者とともに生きる姿勢を育む」ことを教育活動の柱と位置づけております。本校3学年では、公民科目「現代社会」を履修し、社会の仕組みや市民としての在り方を学習しております。日本国憲法25条が「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」と定めている一方で、新型コロナウイルスの影響下、生活困窮者が増加する社会状況は、生徒が関心をよせる話題です。

そこで下記の通り、授業内で卒業後に社会で生きる一員として特に“公的扶助”に関して学ぶ機会を持つことといたしました。東京大学の客員研究員でもある仙台市職員の方を講師に招き、現場の声を伺うことで、生徒一人ひとりが感じ、考え、行動するきっかけにしたいと考えております。

記

- 日 時：2021年12月17日（金）5限（12:40～13:25）
- 会 場：尚綱学院高等学校 選択教室（3階）
- 目 的：生徒の公的扶助に対する理解を促進する
- ク ラ ス：3年3組，3年4組（42名）
- 講 師：林 慎吾 氏（仙台市役所泉区保健福祉センター一保護課 第二係長，
東京大学大学院医学系研究科客員研究員）

お忙しい時期とは存じますが、生徒たちが生存権や公的扶助について学び、考える姿を是非取材頂き、報道下さいますよう宜しくお願い申し上げます。

尚綱学院高等学校
授業担当／森田 寿
電話／022-264-5881